



年 組 名前

道新でワークシート

ニセコリゾートに診療所

今冬開業 英語対応の医師常駐

【倶知安】世界的なスキーリゾートとして知られる後志管内倶知安町の山田地区に12月、英語を話す医師や看護師が常駐する診療所が誕生する。山田地区初の医療機関で、急増する外国人スキーヤーのけがや急病に対応する。

名称は「ニセコインターナショナルクリニック」。木造2階建て延べ床面積約300平方メートル、ニセコグラン・ヒラフスキー場から車で数分の道道（蘭越ニセコ倶知安線）沿いで建設が始まった。

同管内京極町の「ひまわりクリニックきょうごく」で働く師井邦竹医師（38）が院長となり、非常勤の外国人医師1人と2人体制で診療にあたる。総合診療科の無床診療所で、エックス線などの各種検査が可能。受



け付けから治療まで全て英語で対応できるのが特長という。今冬は12～3月のみ開院し、将来的には通年での開院を目指す。

これまでは同スキー場から町中心部にある病院まで車で15分ほどかかっていた。その一つの倶知安厚生病院は冬季限定で英語の通訳を配置しており、昨季は約1500人の外国人が利用している。



リゾート地区初の診療所となるニセコインターナショナルクリニックの建設地

2017年9月13日夕刊1面

①なぜニセコリゾートに英語対応の医師常駐の診療所ができるのですか。

②師井院長は開業にあたり、どんな目的を持っていますか。文中から書き抜きなさい。